

2021年12月21日

弘前大学附属病院長
大山 力 殿

弘前大学職員組合執行委員長
永瀬 範明

附属病院の労働環境改善を求める要望書

～主に駐車場利用について～

弘前大学職員組合では、弘前大学で働く看護師約700名を対象としたアンケート調査（①コロナ対応について②勤務時間内休憩所の環境、駐車場利用について）を行い、それぞれ180名、123名から回答を得ました。様々な訴えがありましたが、附属病院で働く看護師の皆さんの多くが改善を望んでいると思われる駐車場の確保について、下記のとおり労働環境改善を要望致します。

まもなく厳冬期となります。早急にご対応いただけますようお願いいたします。回答は、文書によりできるだけ早めにお示しください。

1、附属病院職員駐車場利用ルールを改善してください

① 冬期間、夜勤の出勤時に屋内駐車場利用を認めてください

夜勤者の車があるため一斉除雪ができずただでも狭い駐車場が更に狭くなっているといわれています。また、夜勤あけで疲れているのに、雪の中から車を掘り出さなければ帰れないのは気持ちが折れるという訴えも複数ありました。夜勤者の車が平場の駐車場になれば、一斉除雪もやりやすくなります。冬期間、夜勤者に屋内駐車場利用を認めてください。

② 病院の近隣に必要な分の駐車場所を確保してください

組合が行ったアンケート調査では、病院職員駐車場利用申請をしていると回答した81名のうちの65名が「駐車するために早出をしている」としています。1時間程度早出していると回答した人が41名、1時間30分程度早出しているが5名、最高で1時間50分という回答がありました。また病院職員駐車場利用申請し登録料を払っているにも関わらず、25名が結局停められなかったため近隣のコインパーキングを利用し、利用料を自己負担したと回答しています。駐車場が遠い、狭くて大変、立体駐車場を作ってほしいという訴えも複数ありました。相当数の看護師が、駐車場所を確保するために朝1時間～1時間30分も早出をしているという実態を早期に改善してください。

③ 職員駐車場利用許可申請基準について、自宅からの距離だけでなく個別事情も勘案し、必要な場合は車での通勤を認めてください

保育園への乳幼児の送迎や子どもを病院へ連れて行く際などの不便、かなりな距離を子連れで歩かなければならない等、本当に困っているという切実な訴えが複数ありました。

以上